YAHAGI

矢作建設工業株式会社

個人投資家向け会社説明会

証券コード1870
（東証プライム・名証プレミア）

2026年10月20日

INDEX

1. 矢作建設工業のご紹介 …… 3

2. 2027年3月期 業績予想 …… 14

3. 中期経営計画 …… 16

4. 株主還元 …… 21

©2026 All rights reserved., YAHAGI CONSTRUCTION CO.,LTD.

1

矢作建設工業のご紹介

会社概要

会　社　名	矢作建設工業株式会社(英文名 YAHAGI CONSTRUCTION CO.,LTD.)
本　　社	愛知県名古屋市東区葵3-19-7
代　表　者	代表取締役社長　竹下英司　**※2026年6月26日就任**
設　　立	1949年5月14日　**※創立77年**
資　本　金	68億8百万円
市　　場	東証プライム、名証プレミア　**※東海圏に本社を置くゼネコンで唯一の東証プライム市場上場**
事　業　内　容	総合建設業〔 建築事業、土木事業、不動産事業 〕
従　業　員　数	1,491名〔連結〕
支　　店	東京、大阪、東北（仙台）、広島、九州（福岡）
グループ会社	矢作地所株式会社 株式会社テクノサポート 北和建設株式会社 矢作ビル＆ライフ株式会社 ヤハギ道路株式会社 株式会社海昌 ヤハギ緑化株式会社 南信高森開発株式会社
主　要　株　主	1. **名古屋鉄道株式会社**　19.1% 2. 日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)　10.5% 3. 矢作建設取引先持株会　7.0% 4. 株式会社日本カストディ銀行（信託口）　4.2% 5. 矢作建設工業社員持株会　3.1%

（2026.6末現在）

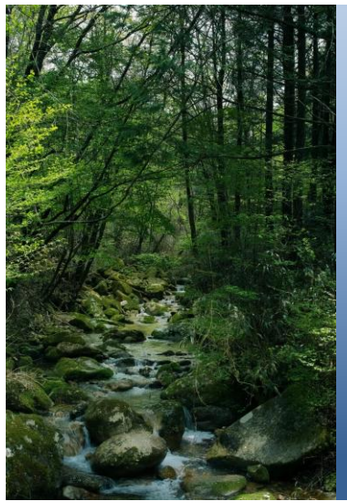
©2026 All rights reserved., YAHAGI CONSTRUCTION CO.,LTD.

社名の由来

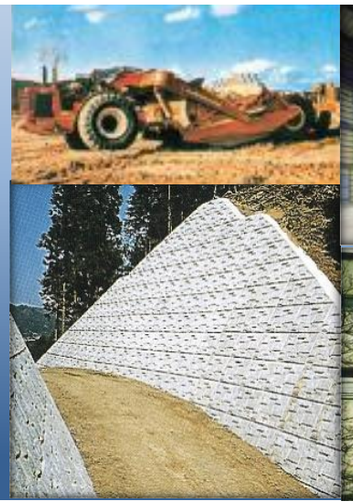
1949年、愛知県西加茂郡挙母町（現 豊田市竹生町）にて会社設立

創業者 山田勝男 の「志」を具現化した社名

矢作建設工業



郷里を流れ太平洋へ
繋がる「矢作」川から
日本全国へ飛躍する
想いを込めた





機械化による
近代的な建設を目指す
「建設工業」

©2026 All rights reserved., YAHAGI CONSTRUCTION CO.,LTD.

業界内での当社のポジション

中堅クラスから、売上高2,000億円以上の準大手クラスへの飛躍を目指す（利益面では既に準大手に匹敵する水準を実現）

ゼネコンの階層



※大手・準大手ゼネコンは、すべて東京または大阪に本社を置く

売上高ランキング

2026年3月期／2025年12月期

	全体順位	会社名	本社・本店	売上高	営業利益	中堅売上高順位
準大手	15	東急建設	東京	3,412	163	–
	16	奥村組	大阪	3,072	159	–
中堅	17	鉄建建設	東京	1,798	56	1位
	18	淺沼組	大阪	1,753	72	2位
	19	**矢作建設工業**	**名古屋**	**1,693**	**137**	**3位**
	20	福田組	新潟	1,680	77	4位
	⋮					

準大手／中堅

中堅ゼネコン　売上高3位

東京・大阪以外に本社を置く
地方ゼネコンではトップクラス

No.1

矢作建設工業

売上高　1,694億円

※一般社団法人建設経済研究所「2026年3月期 主要建設会社決算分析」を基に当社作成

©2026 All rights reserved., YAHAGI CONSTRUCTION CO.,LTD.

矢作建設とは

矢作建設工業の特徴を表す3つのキーワード



設計施工

東海エリアで最大級の設計部門を有し、企画・設計段階から顧客の課題解決に資する提案を行う設計施工一貫体制を確立

不動産事業

建設事業のみならず、行政や地域社会と連携して行う産業用地の開発などの不動産事業を展開

東海圏

1949年、現在の豊田市で設立して以来、東海圏を中心に事業を展開し、東海圏を代表する総合建設会社

設計施工や不動産事業に強みを持つ、
東海圏を地盤としたエンジニアリング志向の中堅ゼネコン

©2026 All rights reserved., YAHAGI CONSTRUCTION CO.,LTD.

沿革

建設の工業化

創業～1970年

- モータースクレーパーなど大型重機を積極的に導入し、機械化・工業化に邁進

経営の多角化・拡大

1971年～1990年

- 分譲マンション事業、緑化事業に進出するなど事業の多角化を推進

経営資源の選択と集中

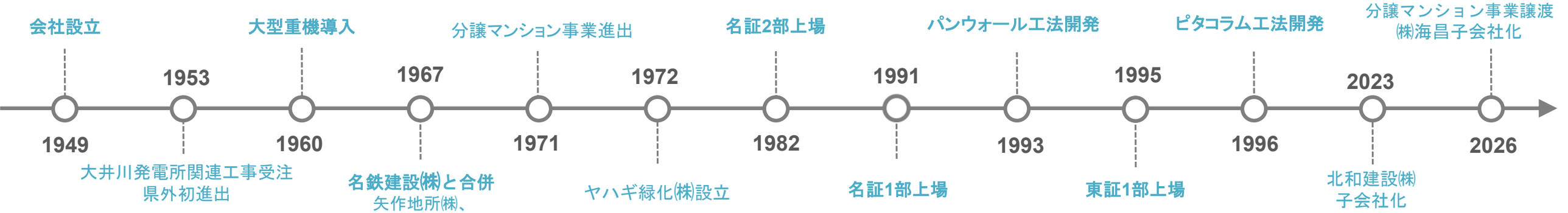
1991年～2012年

- バブル崩壊を機に公共事業依存からの脱却やピタコラム工法を中心とした耐震補強事業への注力など、経営資源の選択と集中を進める

再成長、更なる飛躍

2013年～

- 大型案件への取組みや不動産開発の強化など、リニア経済圏での事業拡大を図る

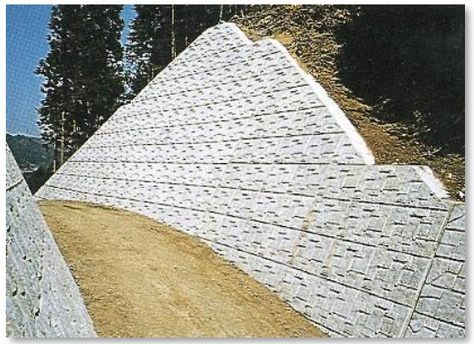




大型重機（モータースクレーパー）
2台導入



名鉄建設（株）との合併式



パンウォール工法開発

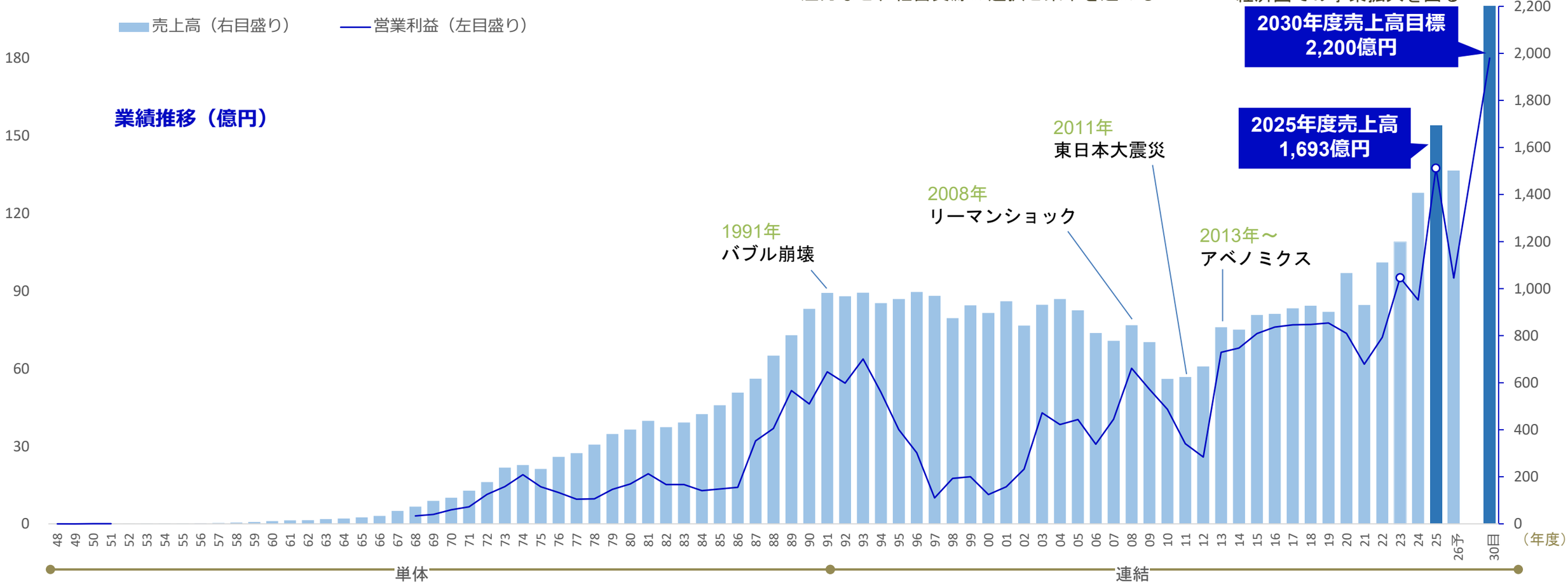


ピタコラム工法開発

©2026 All rights reserved., YAHAGI CONSTRUCTION CO.,LTD.

業績推移

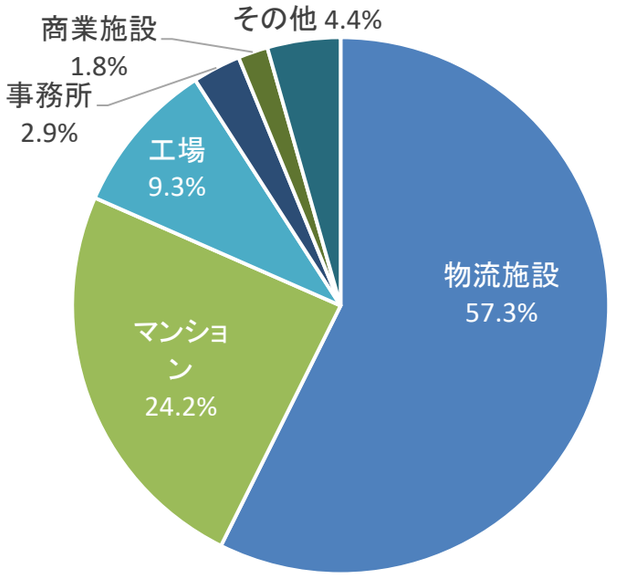
建設の工業化	経営の多角化・拡大	経営資源の選択と集中	再成長、更なる飛躍
創業～1970年	**1971年～1990年**	**1991年～2012年**	**2013年～**
• モータースクレーパーなど大型重機を積極的に導入し、機械化・工業化に邁進	• 分譲マンション事業、緑化事業に進出するなど事業の多角化を推進	• バブル崩壊を機に、公共事業依存からの脱却やピタコラム工法を中心とした耐震補強事業への注力など、経営資源の選択と集中を進める	• 大型案件への取組み強化、不動産開発の強化など、リニア経済圏での事業拡大を図る



©2026 All rights reserved., YAHAGI CONSTRUCTION CO.,LTD.

建築事業

用途別売上構成（2026年3月期）



主な発注者

野村不動産
三井不動産
三菱地所
積水ハウス
東急不動産
大和ハウス工業
日本GLP
イケア・ジャパン
名古屋鉄道

プラウドフラット四谷三丁目（東京都新宿区）



地域の歴史を未来につなぐ
店舗・賃貸マンション複合再開発

LOGI‘Q白岡Ⅲ（埼玉県白岡市）



社会経済を支える大型物流拠点

IKEA長久手（愛知県長久手市）

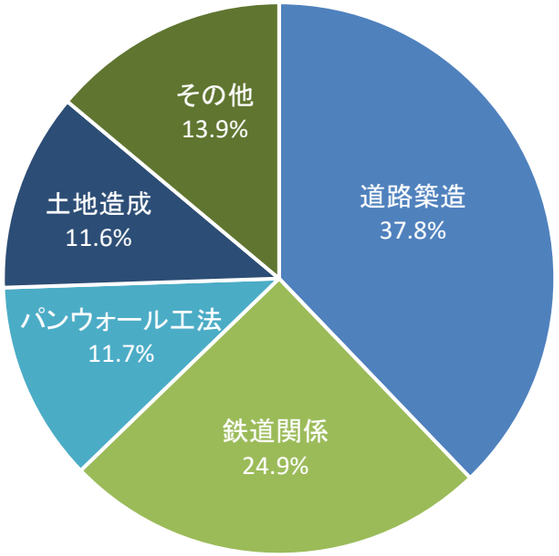


世界的な家具/インテリア販売店の
東海地方初出店に貢献

©2026 All rights reserved., YAHAGI CONSTRUCTION CO.,LTD.

土木事業

用途別売上構成（2026年3月期）



主な発注者

国土交通省　　トヨタホーム
NEXCO中日本　　日揮
愛知県
名古屋鉄道

新東名高速道路御殿場インターチェンジ工事（静岡県）



東名高速道路のダブルネットワーク化など、強固な社会資本整備に寄与

名古屋鉄道犬山線布袋駅本線軌道（愛知県江南市）



鉄道の安全・安定輸送に貢献

パンウォール工法



高い耐久性・耐震性により持続可能で強靭なインフラ構築に貢献

寄居町男衾区画整理事業(埼玉県大里郡寄居町)

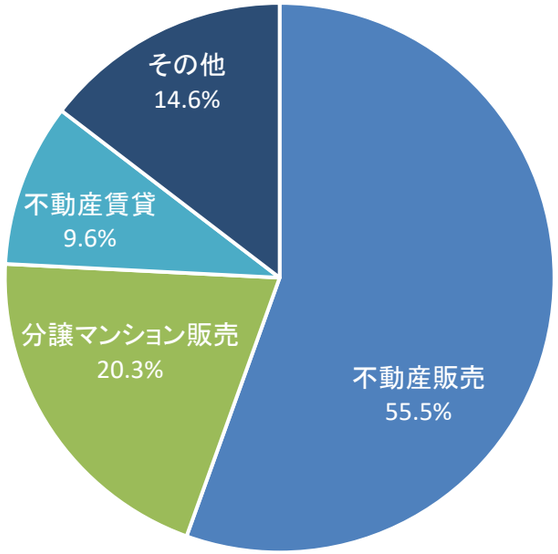


地域の発展に寄与する区画整理事業

©2026 All rights reserved., YAHAGI CONSTRUCTION CO.,LTD.

不動産事業

用途別売上構成(2026年3月期)



大府東海開発プロジェクト(愛知県大府市・東海市)



※詳細はP13参照

**進出企業・行政・地域社会と
連携して実現する不動産開発**

アイミッションズパーク桑名開発事業(三重県桑名市)



**顧客ニーズをスピード感をもって実現する
不動産開発**

八尾郡川土地区画整理事業(大阪府八尾市)



**区画整理から企業誘致、建築工事まで
一気通貫で実施し、地域の活性化に貢献**

©2026 All rights reserved., YAHAGI CONSTRUCTION CO.,LTD.

大府東海開発プロジェクト

事業主として当社が手掛ける過去最大規模の不動産開発プロジェクト

愛知県大府市・東海市にまたがる約7万坪（23万㎡）の工業団地開発

2024年3月期から2027年3月期の4期間にわたり、総額1,000億円規模の売上計上※を見込む

※不動産事業等売上高、完成工事高の合計（詳細は、2023年10月20日、2025年1月24日の「販売用不動産の売却等（予定）に関するお知らせ」をご参照ください）

■事業スケジュール：2016年4月～2027年3月（予定）

2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024	2025	2026

土地取り纏め → 開発許可取得 市街化編入 → 造成工事 → 建築工事（1号宅地） → 建築工事(2号宅地)

地元の意向

当該エリアでの一体開発

行政の意向

都市計画マスタープランに従った地区計画を実現

当社のソリューション

両者の意向を踏まえ、事業主として開発を推進

蓄積してきたノウハウ

地権者交渉 ▶ 行政協議 ▶ 土地開発 ▶ 企業誘致 ▶ 建設工事

■プロジェクト概要





現地航空写真（2026年7月撮影）

©2026 All rights reserved., YAHAGI CONSTRUCTION CO.,LTD.

2

2027年3月期 業績予想

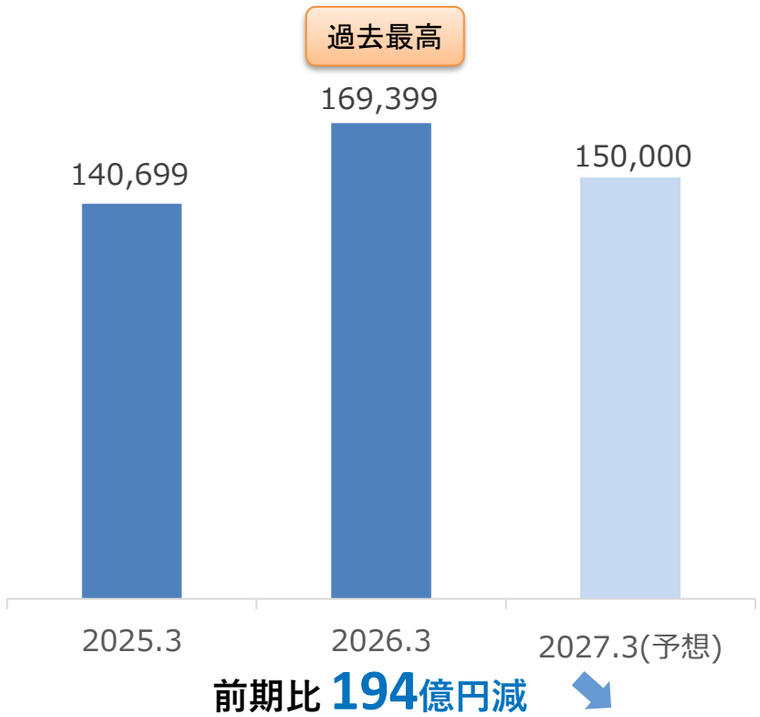
2027年3月期業績予想

過去最高を更新した前期に比べ減収減益となるものの、過去２番目の利益水準を維持。
次期繰越工事は豊富であり、成長力は落ちていない。

売上高

過去最高を更新した前期に比べ194億円の減収

（単位：百万円）

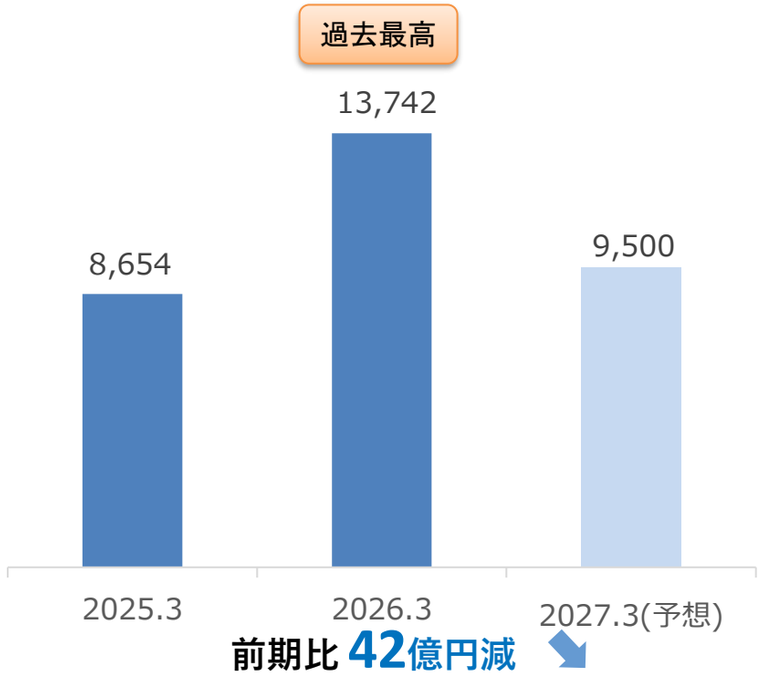


前期比 **194億円減** ↘

営業利益

過去最高を更新した前期に比べ42億円の減益となるものの過去2番目の利益水準

（単位：百万円）

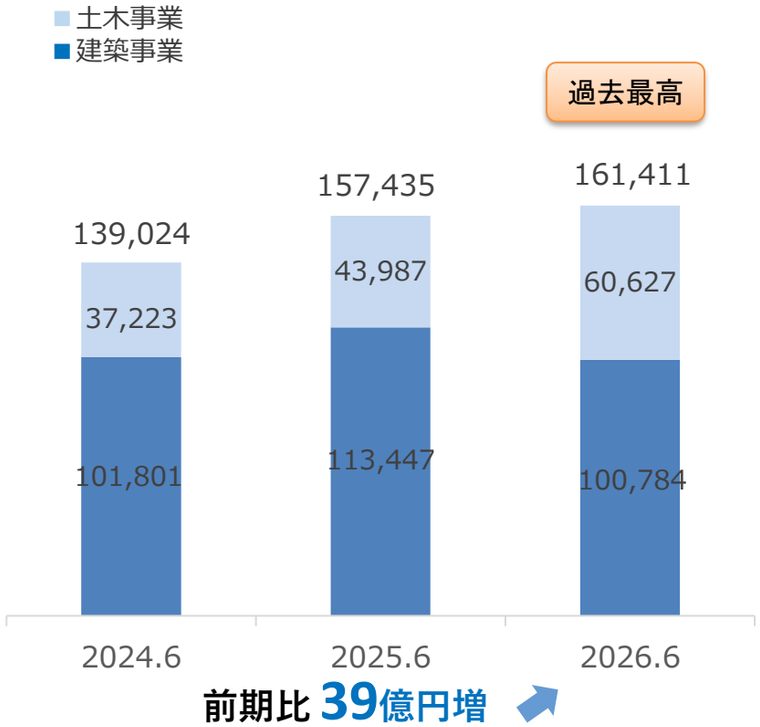


前期比 **42億円減** ↘

次期繰越高

第1四半期として３期連続で過去最高を更新

（単位：百万円）



前期比 **39億円増** ↗

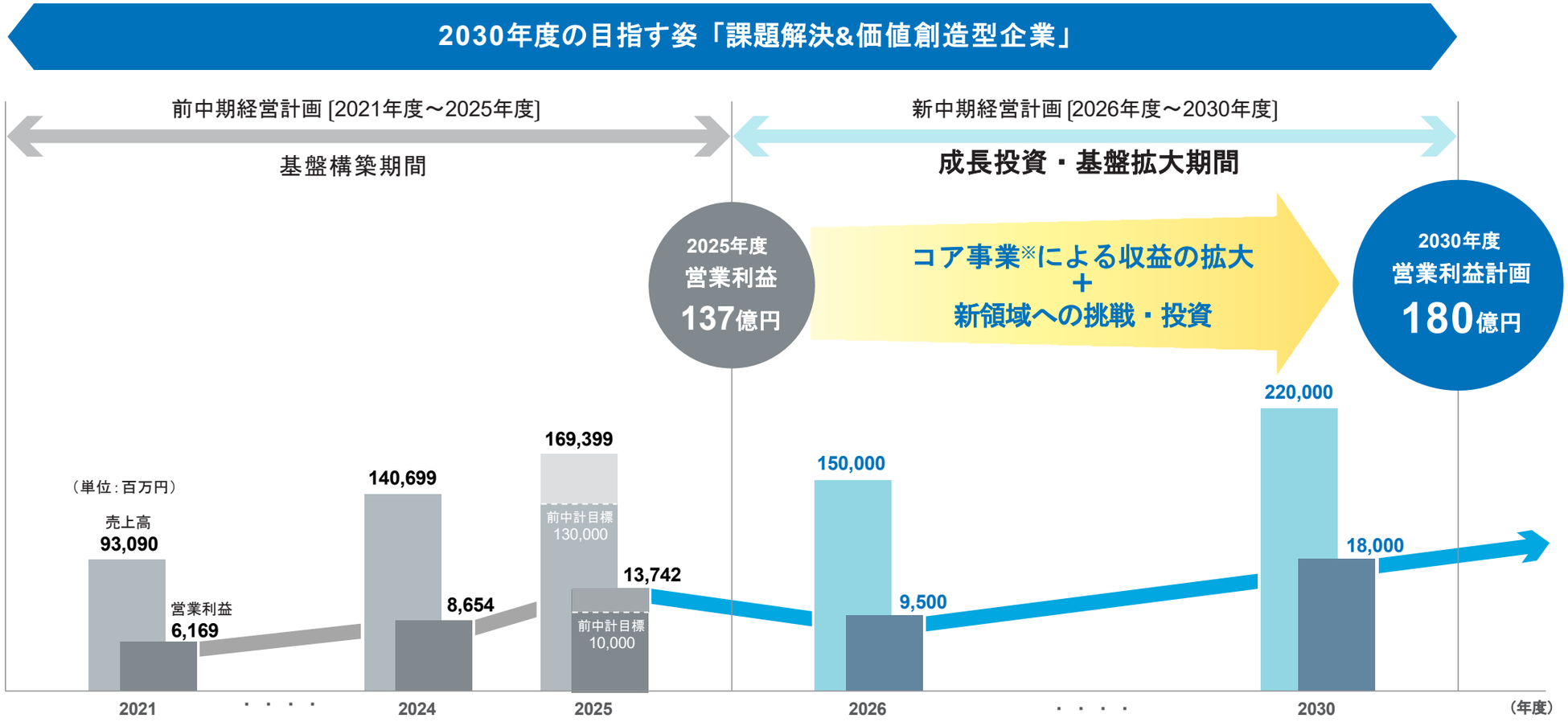
©2026 All rights reserved., YAHAGI CONSTRUCTION CO.,LTD.

3

中期経営計画

新中期経営計画の位置づけ

稼ぐ力の強化と、将来に向けた収益基盤のさらなる拡大を両輪で推進



※ 前中期経営計画にて構築した営業基盤を活用した事業

©2026 All rights reserved., YAHAGI CONSTRUCTION CO.,LTD.

基本方針・経営戦略

基本方針

「課題解決＆価値創造型企業」への変革
～多様なステークホルダーへの価値提供を通じた企業価値向上と持続的成長の循環サイクルを実現する～

経営戦略

『企業価値 ＝ 事業価値※1 × 無形資産価値※2』と定義し、双方を加速度的に増強させることで企業価値の持続的な向上を目指す

経営戦略①	コア事業における稼ぐ力の追求と価値創出の最大化	事業価値の加速度的な増強
経営戦略②	成長領域への挑戦と未来に向けた事業変革の加速	
経営戦略③	積極投資による人財価値の最大化と組織風土改革による生産性向上	無形資産価値の加速度的な増強
経営戦略④	企業価値を持続的に向上させる経営基盤の強化	

※1 事業価値：地域社会や顧客の持つ課題を解決し、新たな価値を創造した結果として得られる正当な対価（≒稼ぐ力）
※2 無形資産価値：当社がこれまでに積み上げ、今後も積極的に強化していく人財力、ブランド力、技術力、地域との信頼関係など価値創出の源泉

©2026 All rights reserved., YAHAGI CONSTRUCTION CO.,LTD.

数値目標（2030年度）

企業価値向上に向けた実効性のある目標（主要KPI）を設定

経営指標

収益性	資本効率	財務健全性
営業利益	ROE	自己資本比率
180億円 以上	12% 以上	40% 以上
売上高2,200億円程度		D/Eレシオ1.0倍以下

その他指標

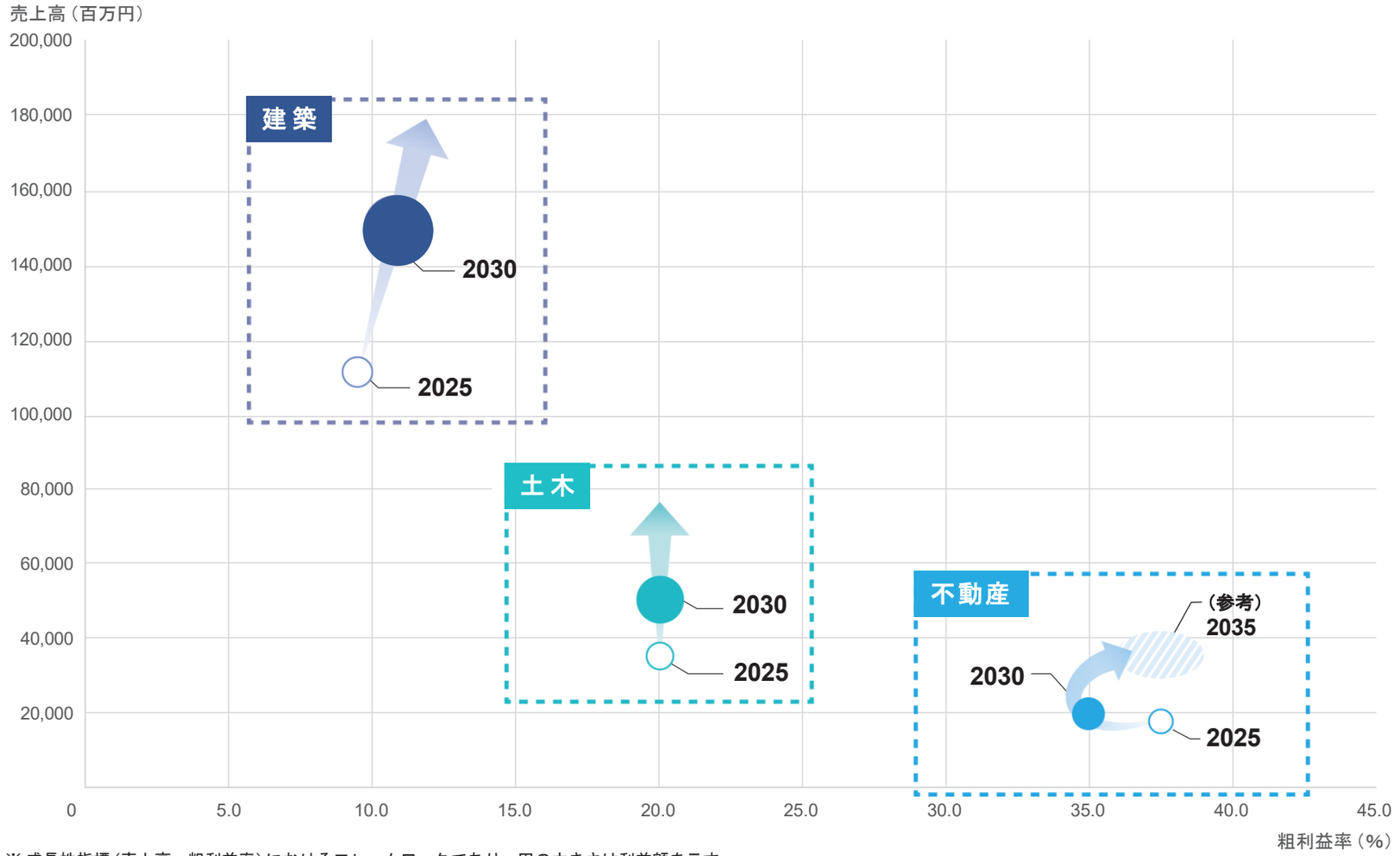
成長投資（NET）	配当方針	エンゲージメントレーティング※
500億円	DOE 5% 以上（累進配当）	AA （2025年度 BBB）

※ エンゲージメントレーティングは（株）リンクアンドモチベーションのエンゲージメントサーベイより、同社算定評価を採用（AAA～DDの11段階）

©2026 All rights reserved., YAHAGI CONSTRUCTION CO.,LTD.

各事業の成長性マップ

各事業が売上高・利益率を意識した成長戦略を推進



※ 成長性指標（売上高－粗利益率）におけるフレームワークであり、円の大きさは利益額を示す

建　築

〈収益力の向上〉

既存領域での稼ぐ力の増強と
新領域への挑戦による事業拡大

土　木

〈売上規模の拡大〉

営業力・供給力・技術力（競争力）の
進化・深化による事業規模拡大

不動産

〈2035年に向けた収益の安定性強化〉

収益構造の最適化と事業領域の
拡大による安定的かつ高水準な
収益の実現

©2026 All rights reserved., YAHAGI CONSTRUCTION CO.,LTD.

4

株主還元

株主還元･配当

配当方針：自己資本配当率（DOE）５％以上、累進配当

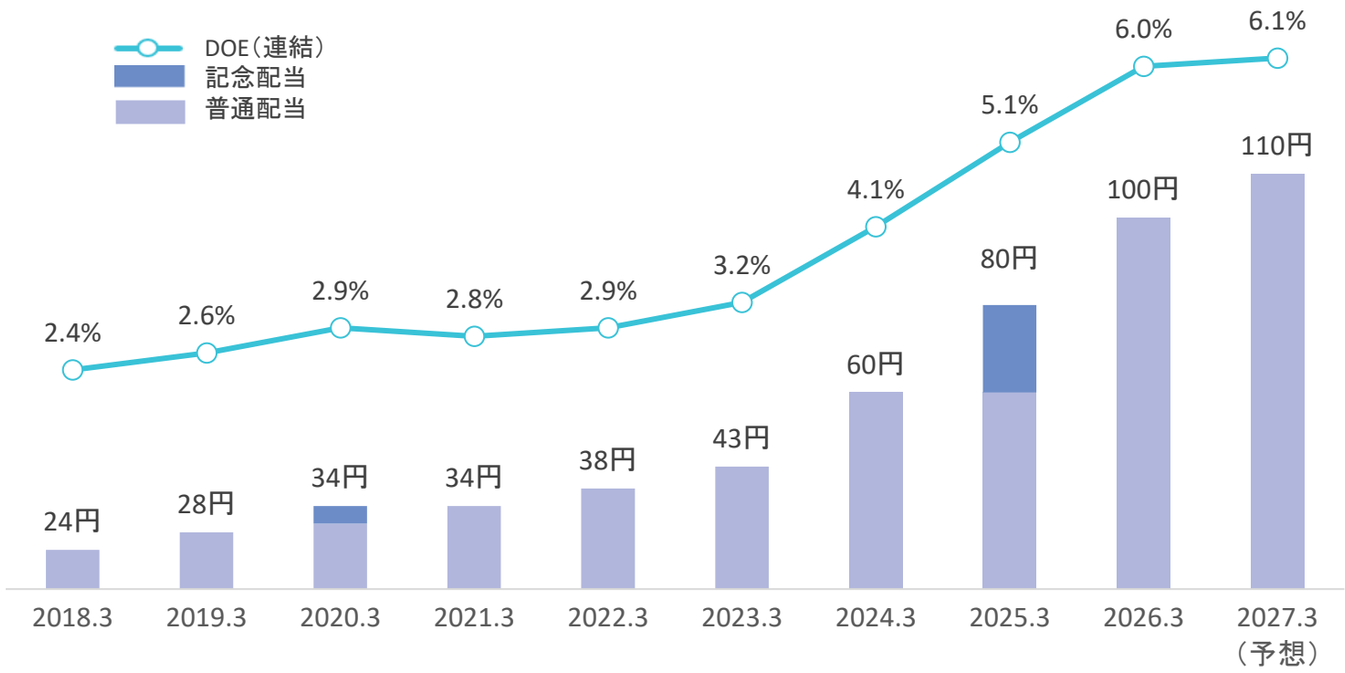
2027.3予想

1株当たり110円を予定。前期比でも10円の増配、14期連続で減配なし、6期連続の増配を見込む
自己資本配当率（DOE）は6.1％を見込む
※2026年8月7日、年間配当予想を100円から110円へ上方修正

	2023.3	2024.3	2025.3	2026.3	2027.3 予想
年間配当金	43円	60円	80円 ※	100円	110円
配当性向	41.0%	39.9%	61.0%	50.8%	51.1%
自己資本配当率(DOE)	3.2%	4.1%	5.1%	6.0%	6.1%

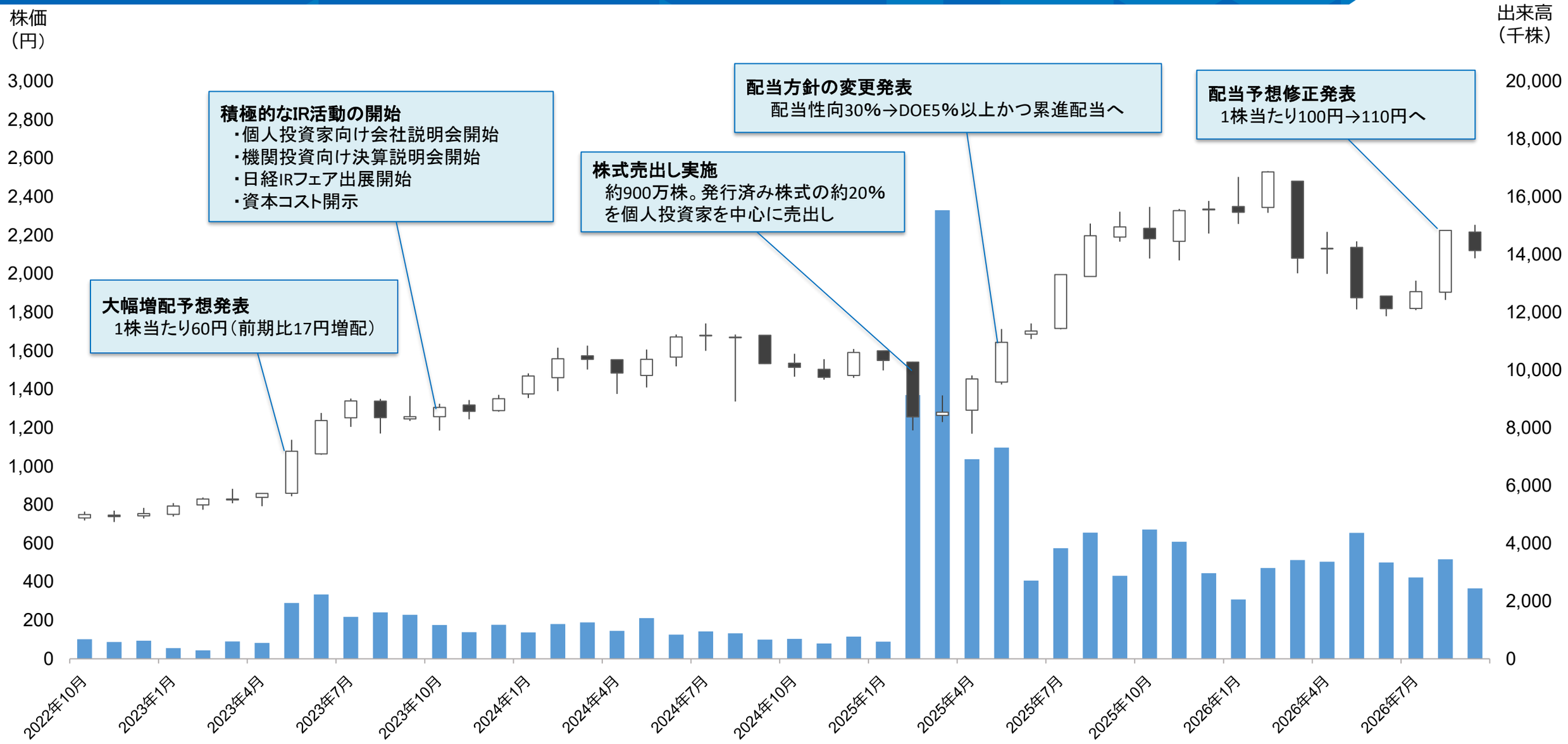
※記念配当20円含む

1株当たり年間配当金



©2026 All rights reserved., YAHAGI CONSTRUCTION CO.,LTD.

株価・出来高推移（2022年10月～2026年9月）



©2026 All rights reserved., YAHAGI CONSTRUCTION CO.,LTD.

ディスクレーマー

資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記載は、本資料の発表日現在における将来の見通し、計画のもととなる前提、予測を含んで記載しており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績は、今後様々な要因によって、大きく異なる結果となる可能性があります。本資料には監査を受けていない概算値を含むため、数値が変更になる可能性があります。

©2026 All rights reserved., YAHAGI CONSTRUCTION CO.,LTD.